

2019

大分市関崎海星館施設整備 基本構想



令和元年(2019年)9月
大分市教育委員会

目次

1. はじめに	1
---------	---

2. 基本構想の位置付け	2
--------------	---

3. 関崎海星館を取巻く情勢	3
----------------	---

3. 1 施設周辺の状況	3
3. 2 関崎海星館の基礎情報	4
3. 3 市内・県内の天文関連施設の状況	8
3. 4 本市と同規模の都市が設置している科学館の状況	11
3. 5 関崎海星館の特性と課題の整理	13

4. 関崎海星館に求められる機能	15
------------------	----

5. 基本的な整備の方向性	17
---------------	----

5. 1 ハード面の整備の方向性	17
5. 2 ソフト面の対応について	17

6. 機能別の導入方針	18
-------------	----

6. 1 建物改修及びバリアフリー化への整備方針	18
6. 2 天体望遠鏡の整備方針	18
6. 3 プラネタリウムの導入方針	19
6. 4 展示の整備方針	19
6. 5 アプローチと駐車場の整備方針	19

7. 参考資料	21
---------	----

7. 1 大分市関崎海星館施設整備基本構想策定検討委員会	21
------------------------------	----

1. はじめに

大分市関崎海星館は、平成7年（1995年）4月に星空などの天体観測ができる「生涯学習の場」、四季折々の花々や豊後水道を一望できる景観を活かした「観光スポット」として開館し、24年が経過しました。この間、多くの市民の皆様が親しまれる施設として、年間約2万5千人の方々にご利用いただいております。

このような中、地域の皆様をはじめ多くの方々から「関崎海星館の魅力をさらに向上させてほしい。」という声があり、これからも長く活用できる施設としての改修や、バリアフリー化等、施設の機能強化を実施する必要性が高まってきたところでもあります。また、本市の科学教育を推進する施設としての機能整備も併せて考えていく必要があります。

本基本構想は、本市と同規模の都市が設置している科学館の状況調査等をもとに、関崎海星館の現状、特性や課題を把握するとともに、今後求められる役割、導入が望まれる機能等を踏まえ策定したものです。

新たな関崎海星館は、「**星と海と人がつながり心の宝物に出会う場所**」のコンセプトのもと、子どもから大人までが、星、海、自然に対する興味・関心を高め、主体的に学べる場として、市民をはじめ多くの方々から長く愛される魅力ある社会教育施設を目指します。

また、機能の充実や佐賀関の自然を生かした取組により、観光振興を含めた佐賀関地区全体の活性化に寄与するものと考えております。

最後に、本基本構想の策定に当たり、熱心なご議論をいただきました検討委員会をはじめとした関係者の皆様から心から感謝申し上げますとともに、今後とも本事業の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 基本構想の位置付け

本基本構想は、大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」をはじめとする本市の上位計画等、関連する各種計画との整合を図るものとします。

大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」

- めざすまちの姿(都市像) 「笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市」
- 基本構想：新しい時代の総合的かつ計画的な行政運営の指針を定め、新たな目標と発展の方向性を明らかにする
- 基本構想期間：平成28年度(2016年度)～令和6年度(2024年度)

基本計画

第2部 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり(教育・文化の振興)

第1章 豊かな人間性の創造

第3節 社会教育の推進と生涯学習の振興

基本方針 生涯学習社会の構築のため、学びの支援体制や機会・内容の充実に努めるとともに、地域力の向上を図ります。

また、豊かな人間性や社会性をはぐくむため、地域で子どもたちを育成するための環境づくりを推進します。

各種個別計画

『大分市教育ビジョン』

『大分市公共施設等総合管理計画』

『大分市教育施設整備保全計画』

『大分市観光戦略プラン』

整合性

佐賀関地域
まちづくりビジョン

大分市関崎海星館施設整備基本構想

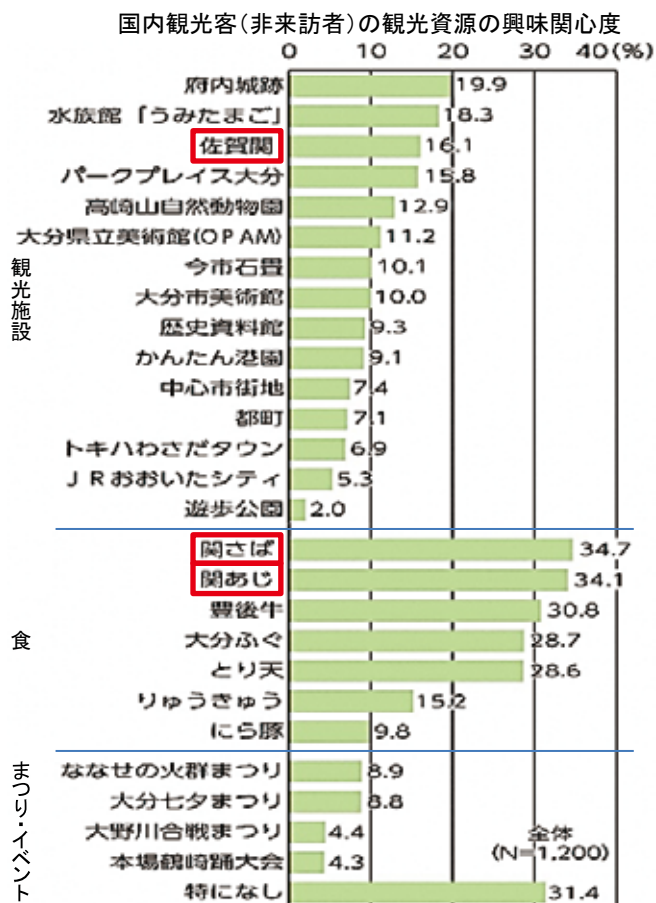
3. 関崎海星館を取巻く情勢

3. 1 施設周辺の状況

関崎海星館は、大分市の東にある佐賀関半島の先端に位置し、市街地から車で約1時間の距離にある天体観測ができる社会教育施設です。展望室からは300度の大パノラマが広がり、豊後水道、豊予海峡、臼杵湾、その先には四国の佐田岬を望むことができます。豊後水道で一本釣りされ、佐賀関で水揚げされる「関あじ」「関さば」は全国的に有名です。

風光明媚な豊予海峡を望む関崎海星館は、観光資源としての側面も有しています。本市の観光入込客数を調べたところ、平成25年(2013年)～平成29年(2017年)の5年間の年間平均は約370万人で、観光宿泊客数は増加傾向にあります。

また、本市を訪れたことのない国内観光客の興味関心度調査から、観光施設や食として、「佐賀関」に対する関心は高いものの、関崎海星館の入館者は近年、2万5千人前後で推移をしており、「佐賀関」に対する興味関心を、関崎海星館の入館へつなげていくことが重要であると考えます。



出典 大分市観光戦略プラン



関崎海星館正面入口



敷地内からの眺望

3. 2 関崎海星館の基礎情報

3. 2. 1 施設及び事業の概要

所在地 : 大分県大分市佐賀関4057-419 (北緯33度、東経131度)
敷地面積 : 18,079m²
構造規模 : 鉄筋コンクリート造 地上2階建
建築年月 : 平成7年(1995年)4月
建築面積 : 669m²
延べ床面積 : 681m²
所 管 : 大分市教育委員会 社会教育課
運営管理 : 指定管理者(大分エージェンシー株式会社)

*指定期間 平成29年(2017年)4月1日~令和4年(2022年)3月31日

事業内容 : ①海洋及び天文に関する学習活動に関すること
(条例規程) ②海洋及び天文に関する講座、講演会、研修等の開催に関すること
③海洋及び天文に関する資料の収集及び展示並びに調査研究に関すること
④関崎海星館における余暇の活用促進に関すること
⑤その他関崎海星館の設置の目的を達成するため教育委員会が必要と認める事業

開館時間 : 月・水・木…10時~18時 金・土・日・祝日…10時~22時
8月…10時~22時

休館日 : 火曜日(祝日の場合は一番近い平日)、12月29日~1月3日

利用料金 : 入館料 無料

天体望遠鏡
観覧料 : (個人) 中学生以下/無料 高校生/210円 大人/420円
(団体) 中学生以下/無料 高校生/170円 大人/330円

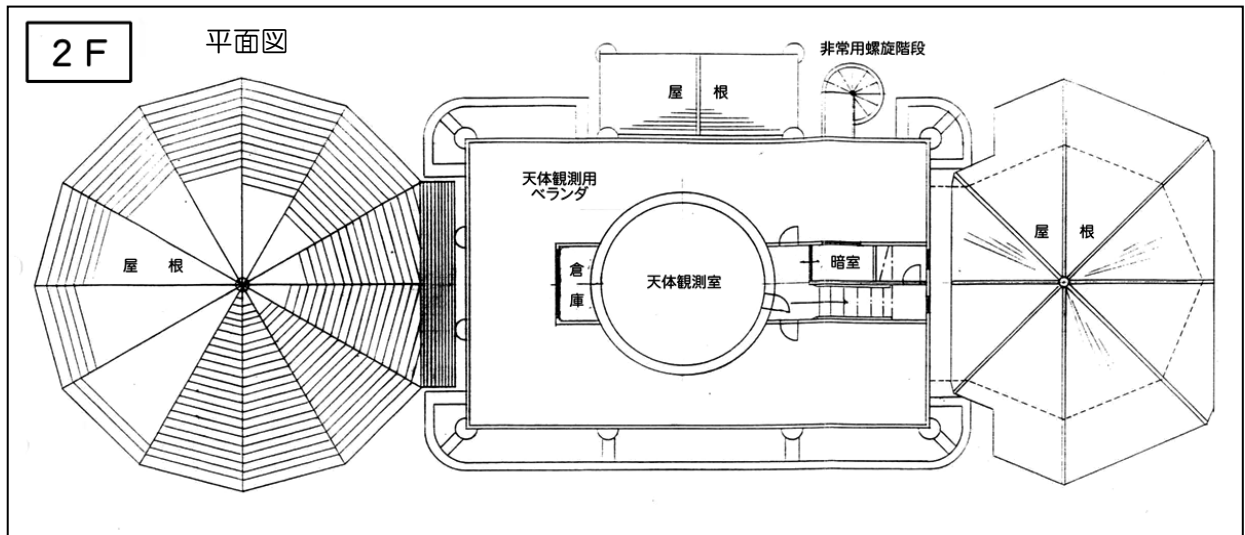
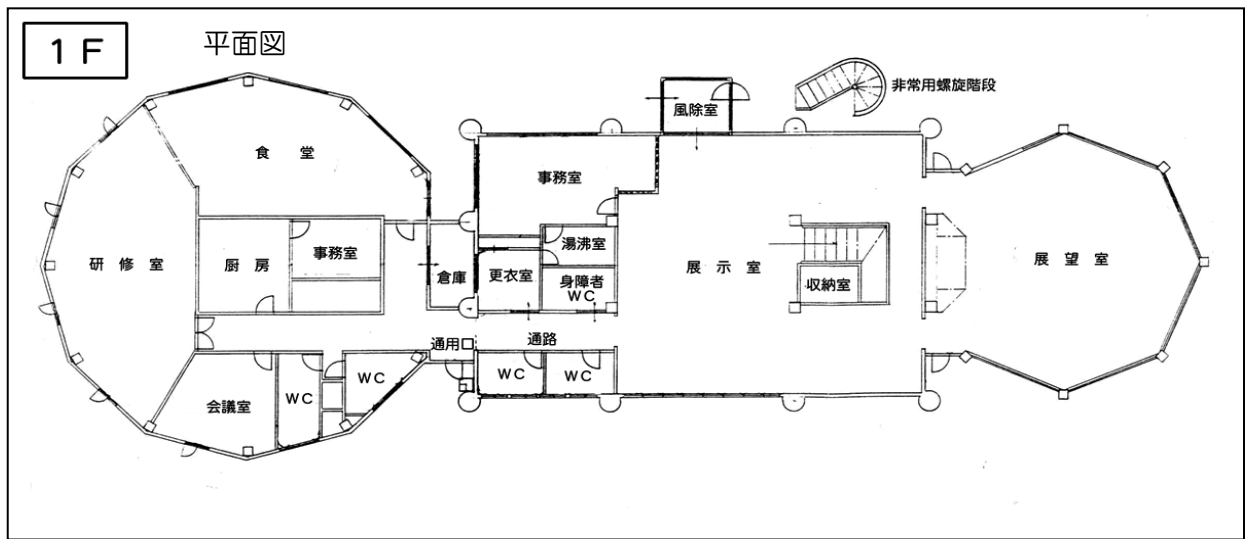
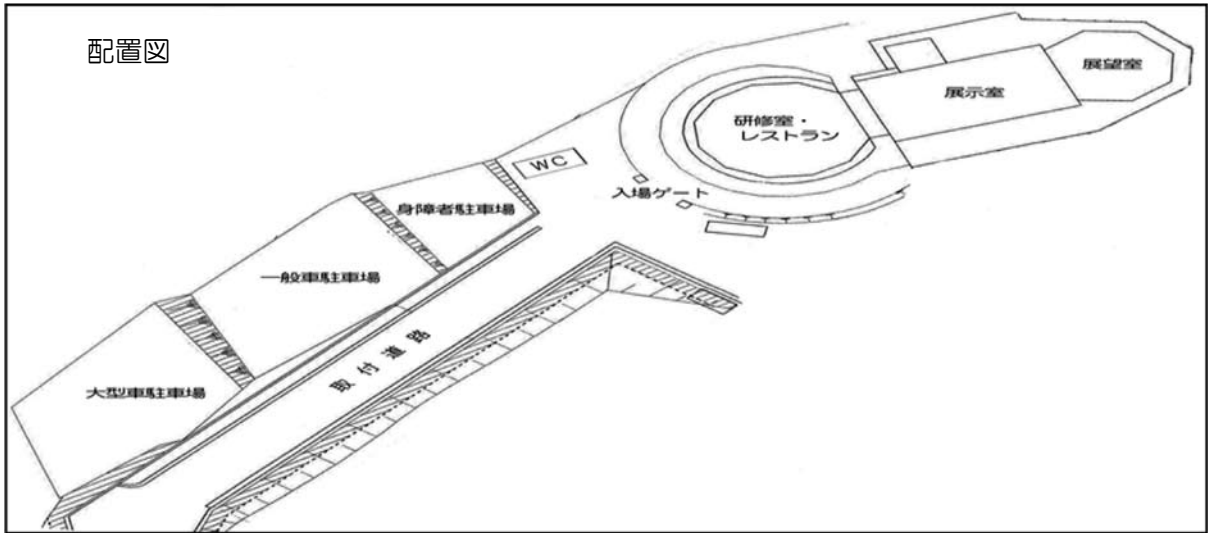
※10人以上より団体割引の対象となる。

【年間パスポート】一般/1,260円、高校生/630円

(観覧有効期間:入会より1年間)

その他 : 双眼鏡使用料 1回/100円(2分間)

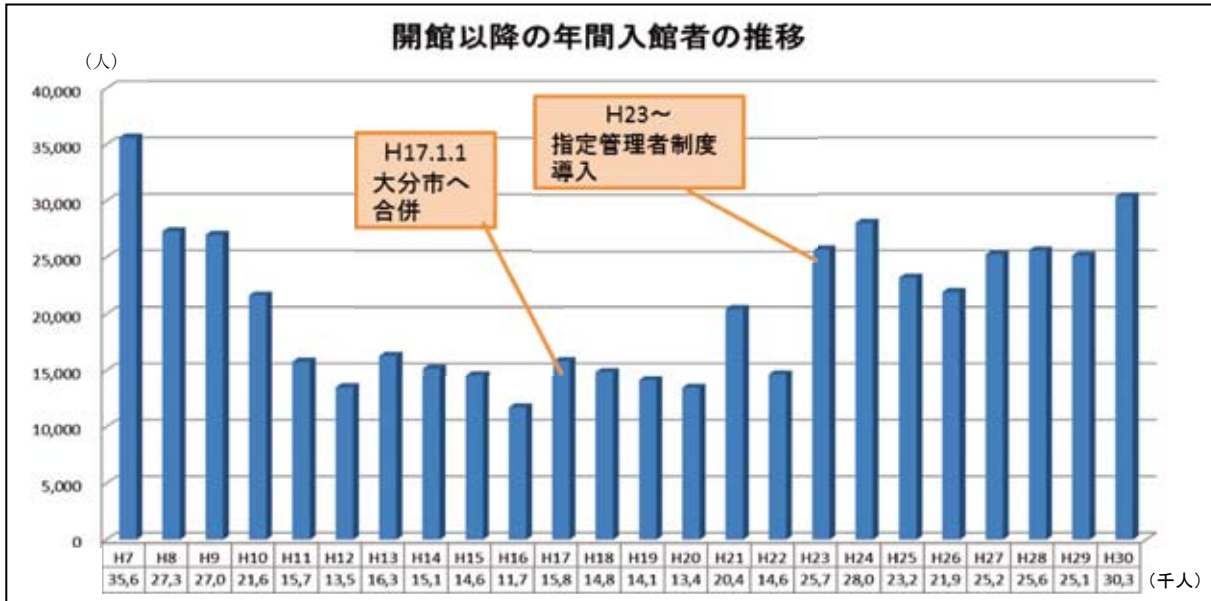
駐車場台数 40台(内 大型用1台、身障者用2台)



3. 2. 2 施設利用者状況等

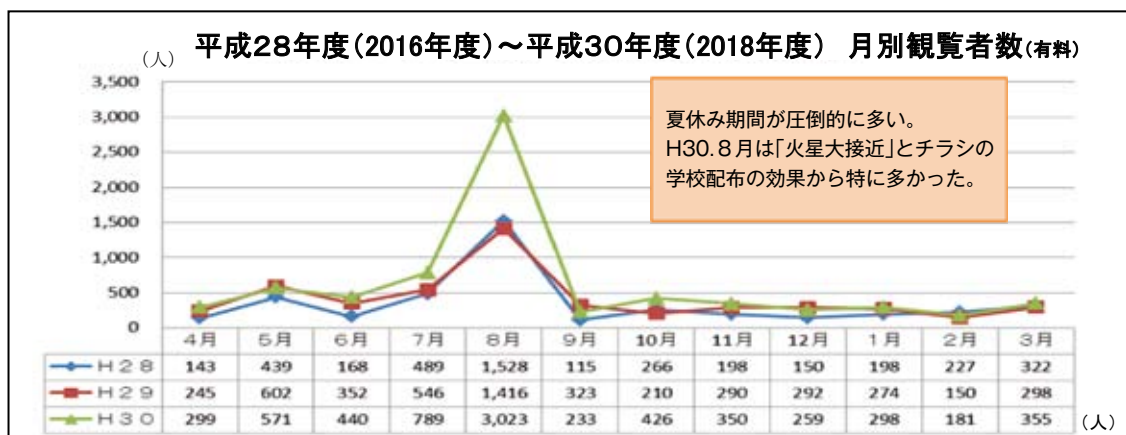
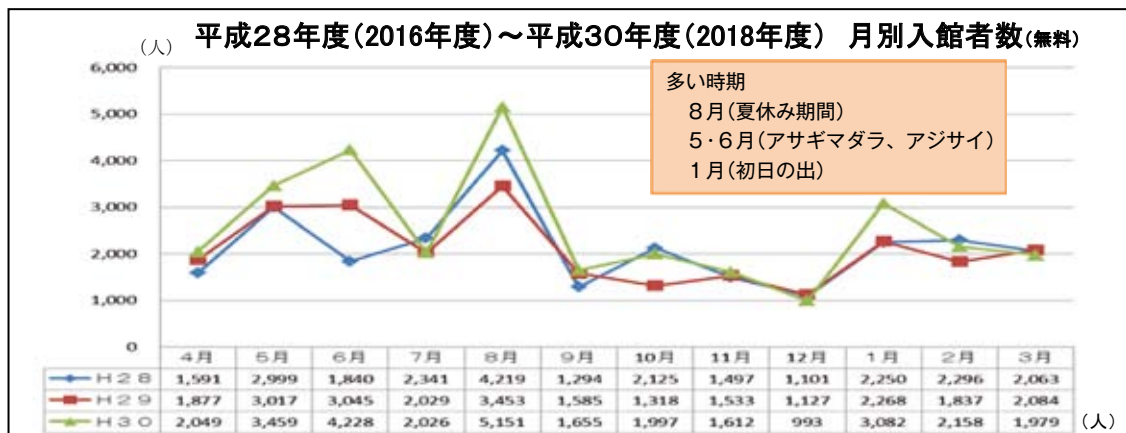
施設の利用状況等は以下のとおりです。

◆開館以降の年間入館者数の推移



資料提供: 関崎海星館(大分エージェンシー株)

◆平成28年度(2016年度)～平成30年度(2018年度)月別入館者(無料)・観覧者(有料)数

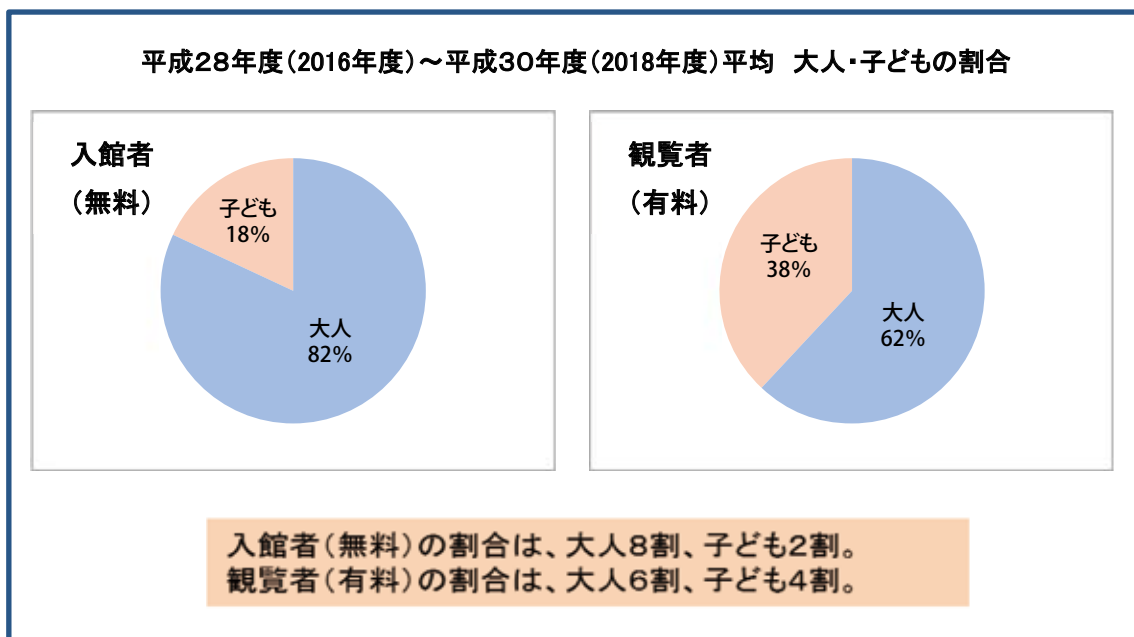


資料提供: 関崎海星館(大分エージェンシー株)

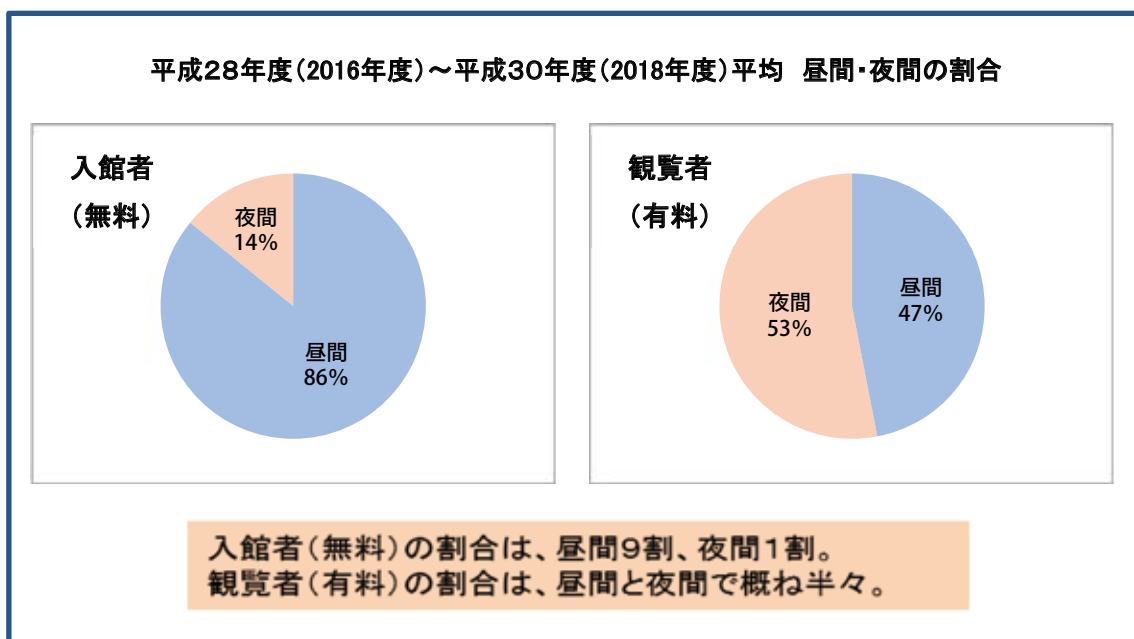
* 観覧者数(有料)は、天体観測室の利用者をいう。

(入館料は無料。ただし、2階天体観測室のみ有料)

◆平成28年度(2016年度)～平成30年度(2018年度) 3ヵ年平均施設利用者構成



資料提供: 関崎海星館(大分エージェンシー株)



資料提供: 関崎海星館(大分エージェンシー株)

* 観覧者数(有料)は、天体観測室の利用者をいう。
(入館料は無料。ただし、2階天体観測室のみ有料)

3. 3 市内・県内の天文関連施設の状況

大分市内および大分県内には、天文関連の施設が関崎海星館を含めて7施設あります。(休止施設を除く) 市内では、関崎海星館のほかに複合施設であるコンパルホールと、のつはる少年自然の家に天体望遠鏡が設置されており、県内では、プラネタリウム設備を有する少年自然の家が2施設、宿泊施設を有する天文台が2施設あります。これらのプラネタリウム設備は団体利用が主であり、常時一般利用はできません。

<大分県内の関連施設>



No	施設名称	所在
①	関崎海星館	大分市
②	コンパルホール	大分市
③	のつはる少年自然の家	大分市
④	梅園の里天文台天球館	国東市
⑤	香々地青少年の家	豊後高田市
⑥	九重青少年の家	玖珠郡九重町
⑦	横岳自然公園キララ館	杵築市

市内・県内の状況一覧表

No.	①	②	③	
施設名	関崎海星館	コンパルホール	のつはる少年自然の家	
所在地	大分市	大分市	大分市	
施設所有者	大分市	大分市	大分市	
施設用途	天文台	文化ホール、公民館、 図書館	研修施設	
施設機能	展望室、展示室、観測室、 研修室、ショップ	ホール、図書館、公民館、 体育館、観測室	宿泊施設、多目的ホール、 研修室、体育館、観測室	
開館時間	月・水・木…10:00～18:00 金・土・日・祝…10:00～22:00 8月…10:00～22:00	夏・春休み、土日祝日及び その前日の晴天日 日没～21:30		
施設開設年月	平成7年(1995年)4月	昭和61年(1986年)6月	平成6年(1994年)5月	
主望遠鏡	一般利用	可	可(大分市、豊後大野市の 在住者)	
	観測料金	一般 420 円 高校生 210 円 中学生以下無料	無料	
	ドーム径(m)	6.5	5	
	種類	反射式	反射式	
	口径(cm)	60	30	
	バリアフリー	未対応	-	
	運用開始年月	平成7年(1995年)	昭和61年(1986年)6月	
	その他望遠鏡	口径 15cm 屈折式望遠鏡	口径 10cm 屈折式望遠鏡	
プラネタリウム	一般利用	-	-	
	観覧料金	-	-	
	ドーム	直径(m)	-	-
		座席数(席)	-	-
		ドーム傾斜	-	-
		座席配列	-	-
	光学式	メーカー名	-	-
		機種名	-	-
		運用開始年月	-	-
	デジタル	メーカー名	-	-
機種名		-	-	
運用開始年月		-	-	
備考		1回につき10名程度の参加 あり。		

④	⑤	⑥	⑦
梅園の里天文台天球館	大分県立香々地青少年の家	大分県立九重青少年の家	横岳自然公園キララ館
国東市	豊後高田市	玖珠郡九重町	杵築市
国東市	大分県	大分県	杵築市
宿泊施設	研修施設	研修施設	天文台
宿泊施設、温浴施設、 天文台	宿泊施設、研修室、体育館、 プラネタリウム	宿泊施設、キャンプ場、 研修室、体育館、観測室、 プラネタリウム	宿泊施設、観測室
13:00~22:00 13:00~16:30 太陽観察 19:30~22:00 星空観察			事前予約制
平成10年(1998年)	昭和48年(1973年)8月	昭和58年(1983年)6月	平成7年(1995年)3月
可	団体利用のみ可	団体利用のみ可	可
一般 500円 高校生 300円 小中学生 200円	-	県内中学生未満無料 県外小中高 220円 その他 440円	大人 300円 こども 200円 平成30年(2018)7.1より宿泊者無料
7.5	-		5.0
反射式	-	屈折式	屈折式
65	-	20	20
ワンダーアイ装備	-	-	未対応
平成30年(2018年)4月	-	-	平成7年(1995年)3月
-	-	-	口径 20cm 屈折式望遠鏡
-	団体利用のみ可	団体利用のみ可	-
-	県内中学生未満無料 県外小中高 110円 その他 230円	県内中学生未満無料 県外小中高 110円 その他 230円	-
-	15	12	-
-	140	140	-
-	傾斜	平面	-
-	一方向	一方向	-
-	-	コニカミノルタ	-
-	-	MS-10 AT	-
-	-	昭和58年(1983年)6月	-
-	コニカミノルタ	-	-
-	SUPER MEDIAGLOBE-II	-	-
-	平成22年(2010年)4月	-	-
平成30年(2018年)に 望遠鏡リニューアル 宿泊者は100円引き。			平成27年度(2015年度)~ 平成29年度(2017年度)の 年間平均利用者数60人。

3. 4 本市と同規模の都市が設置している科学館の状況

平成27年（2015年）度の国勢調査より人口約40万人～60万人規模の都市を抽出し、プラネタリウムや望遠鏡を有する科学館等、下記23施設について、施設への照会・回答の結果や施設紹介のホームページ等インターネットによる調査結果をまとめました。

＜人口約40万人～60万人規模の市区で望遠鏡設備等を有する施設＞

都道府県	市区町村	平成27年 (2015年) 人口 (万人)	施設名(愛称)
鹿児島県	鹿児島市	59	鹿児島県立博物館プラネタリウム
鹿児島県	鹿児島市	59	鹿児島市立科学館(ビッグアイ)
埼玉県	川口市	57	川口市立科学館(サイエンスワールド)
東京都	八王子市	57	八王子市こども科学館(コニカミノルタサイエンスドーム)
東京都	板橋区	56	板橋区立教育科学館
兵庫県	姫路市	53	姫路科学館(アトムの館)
兵庫県	姫路市	53	姫路市宿泊型児童館『星の子館(ほしのこやかた)』
栃木県	宇都宮市	51	栃木県子ども総合科学館
愛媛県	松山市	51	松山市総合コミュニティセンター・こども館コスモシアター
大阪府	東大阪市	50	東大阪市立児童文化スポーツセンター(ドリーム 21)
千葉県	松戸市	48	松戸市民会館プラネタリウム室 (NAOKO SPACE PLANETARIUM)
大分県	大分市	47	関崎海星館
岡山県	倉敷市	47	ライフパーク倉敷科学センター
石川県	金沢市	46	いしかわ子ども交流センター
石川県	金沢市	46	銀河の里キゴ山(天文学習棟)
東京都	葛飾区	44	葛飾区郷土と天文の博物館
長崎県	長崎市	42	長崎市科学館(スターシップ)
神奈川県	藤沢市	42	藤沢市湘南台文化センターこども館
愛知県	豊田市	42	とよた科学体験館
香川県	高松市	42	さぬきこどもの国
富山県	富山市	41	富山市科学博物館
富山県	富山市	41	富山市科学博物館付属富山市天文台
岐阜県	岐阜市	40	岐阜市科学館
宮崎県	宮崎市	40	宮崎科学技術館(コスモランド)

3. 4. 1 調査結果概要

- (1) 施設の立地と施設規模（延べ床面積）
 - ・ 公共交通機関の利用が可能で、アクセスしやすい施設（最寄り駅から徒歩10分程度と設定）と、車を使用して訪れることが前提となる施設は各々半数ずつである。
 - ・ 延べ床面積は300㎡～10,000㎡と幅広く、平均延べ床面積は 5,200㎡である。
- (2) 駐車場
 - ・ 施設の規模に比例して駐車台数も多くなる。
 - ・ 天文施設では、天体観測の妨げとなる車のライトや街灯の光の影響を受けないよう、あえて離れた位置に駐車場を設置している施設もある。
- (3) 施設構成要素
 - ・ 主に「展示室」、「実験室（サイエンスラボ）」、「工作室」、「プラネタリウム」などで構成されている。
- (4) バリアフリー
 - ・ 屋外は点字ブロックやスロープが整備されている。
 - ・ 屋内はエレベーター、多目的トイレ、授乳室などが整備されている。
- (5) 運営方式と職員数
 - ・ 市直営施設と指定管理者制度の導入施設が半数ずつ、1施設が業務委託。
 - ・ 平均すると1施設あたりの職員数は17人。
- (6) 入館者数とその属性
 - ・ 公共交通機関や自転車等でアクセスしやすい場所の施設は利用者数が多い。
 - ・ 大人とこどもの割合はほぼ半数。
- (7) 展示
 - ・ 大きく分けてパネル展示、デジタル展示、体験型展示の3種類に分類される。
 - ・ 大型の展示を設置できない施設では、クイズを実施するなど工夫を凝らしている。
- (8) リニューアルによる効果
 - ・ リニューアルにより長期にわたる大幅な利用者数の増加は見られないが、満足度は向上し、数年経過後も利用者の微増を維持している。
- (9) 望遠鏡
 - ・ 望遠鏡を有する10施設のうち、8施設が反射式望遠鏡を主望遠鏡として整備。
 - ・ 開館日の全ての時間で一般公開している施設は、10施設中わずか1施設のみ。
 - ・ 科学館に併設された望遠鏡を十分に活用している施設は少ない。
- (10) プラネタリウム

＜施設調査の平均値＞

項目		平均値	備考
プラネタリウム導入施設割合		83%	23施設中19施設
規模	ドームサイズ（直径）	19m	
	座席数	200席	
利用者	プラネタリウム利用者数	4.6万人	
	平日上映1回につき利用者数	19人	
	土日祝日の上映1回につき利用者数	60人	
	利用率	25%	年間利用者数÷年間座席数×100
施設入館者数のうち、プラネタリウムを利用する人の割合		30%	プラネタリウム利用者数÷入館者数×100

3. 5 関崎海星館の特性と課題の整理

関崎海星館の現状及び周辺の状況調査の結果、見えてきた同施設の特性及び課題を整理します。

3. 5. 1 関崎海星館の特性の整理

○入館者の特性

- ・ 関崎海星館の直近3ヵ年の年間来館者数は2万5千人前後で推移。
- ・ 月別の入館者数は夏休み期間中の8月が最も多く、その次に5月、6月。
- ・ 最も入館者数が少ない時期は12月。
- ・ 入館者の構成は大人8割、こども2割。
- ・ 皆既月食・日食や、流星群・惑星の接近などの天体ショーの際には多くの天文ファンが集まる。
- ・ 1月には初日の出、5月、6月には長距離を渡る大型の蝶アサギマダラや施設周辺に広がるアジサイを求めて多くの観光客が訪れている。また、年間を通して関崎灯台への散策やバードウォッチングに訪れる人もいる。

○観覧者（天体望遠鏡の利用者）の特性

- ・ 天体望遠鏡の観覧者は入館者全体の18%。
- ・ 日中の天体望遠鏡での観覧者は日中入館者の10%。
- ・ 夜間の天体望遠鏡での観覧者は夜間入館者の70%。

○立地の特性

- ・ 施設は、大分市中心部から車で1時間ほどの佐賀関半島の岬に位置し、展望室からは別府湾、瀬戸内海、豊後水道といった海が300度の大パノラマで広がる。
- ・ ウミネコが繁殖し、瀬戸内海国立公園に指定されている高島や、四国の佐田岬まで見渡すことができる。
- ・ 街灯りの影響が少ないため、美しい星空が望める。

○施設の特性

- ・ 大型天体望遠鏡を、開館日の全ての時間で一般公開している。
- ・ 日中は太陽や昼間の天体、夜間は惑星等の観測ができる。
- ・ 6月のアジサイをはじめ、四季折々の植栽を楽しむことができる。
- ・ 社会教育施設としてだけでなく、佐賀関地区の観光の拠点としての役割を担う。

3. 5. 2 課題の整理

○施設の長寿命化及びバリアフリー化への対応

- ・ 建築後24年が経過し、施設の長寿命化及びバリアフリー化への対応が求められている。

○設備の老朽化への対応

- ・ 開館時に設置した大型天体望遠鏡の経年による不具合が発生し、部分修繕のための経費と時間がかかっている。

○建物へのアプローチ

- ・ 敷地入口から建物の正面入口が見えないため、来館者を施設内に導く演出に乏しいように感じる。
- ・ 敷地には訪れるが周辺の景色を堪能するだけで施設へ入館しない利用者が、入館者数の1～2割存在する。

○道路環境を含む周辺一帯の整備

- ・ 周辺道路は道幅が狭いうえに樹木が覆いかぶさり、大型バス等の通行を妨げている。
- ・ 佐賀関のまち中に関崎海星館の存在をアピールする演出が乏しい。
- ・ 駐車場の台数が限られるため、繁忙期に駐車できない事態が発生する。

○その他

- ・ 自然を活かした施設のため、来館者数が天候に左右されやすい。

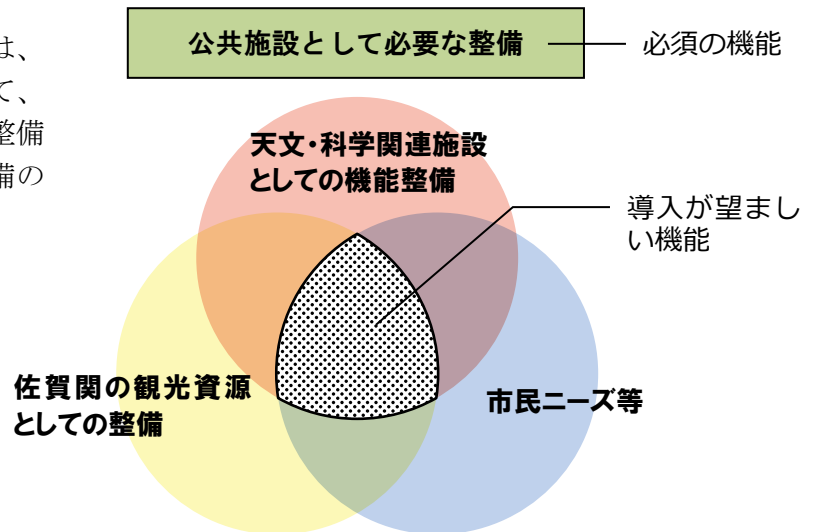


関崎海星館キャラクター
ドリームくん

4 関崎海星館に求められる機能

4.1 求められる機能の考え方

関崎海星館に求められる機能では、公共施設として必要な整備に併せて、天文・科学関連施設としての機能整備及び佐賀関の観光資源としての整備の方向性と市民ニーズ等を加えて、導入が望ましい機能を整理します。



4.2 公共施設として必要な整備

建築後24年が経過しているため「大分市公共施設等総合管理計画」及び「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、施設の長寿命化に向けた改修が必要な時期になっています。改修に際しては、エレベーターや多目的トイレの設置等のバリアフリー化を図ることとされています。

4.3 天文・科学関連施設としての機能整備

3.5.2 関崎海星館のサービス面の課題としてあげている「大型天体望遠鏡の経年劣化による不具合」は、これまでの部分修繕による対応にも限界があります。天文施設として常に安定したサービスの提供を続けるため、大型天体望遠鏡の再整備が求められています。

また、3.4.1 他都市の調査結果概要から、8割以上の科学館で設置されているプラネタリウムの導入や天文を目的としない来館者が気軽に星や海に関する知識に出会う場となるための展示の充実など、本市の科学教育を推進する施設として、天候に左右されないサービスを提供するための機能整備も検討する必要があります。

4.4 佐賀関の観光資源としての整備

3.1 施設周辺の状況のとおり、国内観光客の「佐賀関」に対する関心は高いものがあります。「関崎海星館までいかに足を運んでもらい、いかに入館してもらうか。」を実現するためには、関崎海星館の敷地内の限られた整備だけでなく、周辺部をはじめ佐賀関全体に広げた取組が求められます。そのため、関係部署・機関との連携について、既に行っているものは更なる充実を図るとともに、新たな部署・機関との連携を検討する必要があります。また、道路環境については、改善に向け様々な方策を検討のうえ、管理者である大分県へ提案するなどの働きかけを継続して行う必要があります。

4. 5 市民ニーズ等

○市議会の事務事業評価

市議会が毎年決算審査の一貫で実施している「事務事業評価(*)」の平成29年度(2017年度)評価対象となり、事業拡充の評価を受けています。

評価理由(一部抜粋)

「九州でも有数の大型反射式天体望遠鏡を備えた貴重な施設であることから、利用者のさらなる増加に向けて、関崎海星館の魅力を広く発信するとともに、バリアフリー化など施設の整備充実に努めることを求め、拡充とした。」

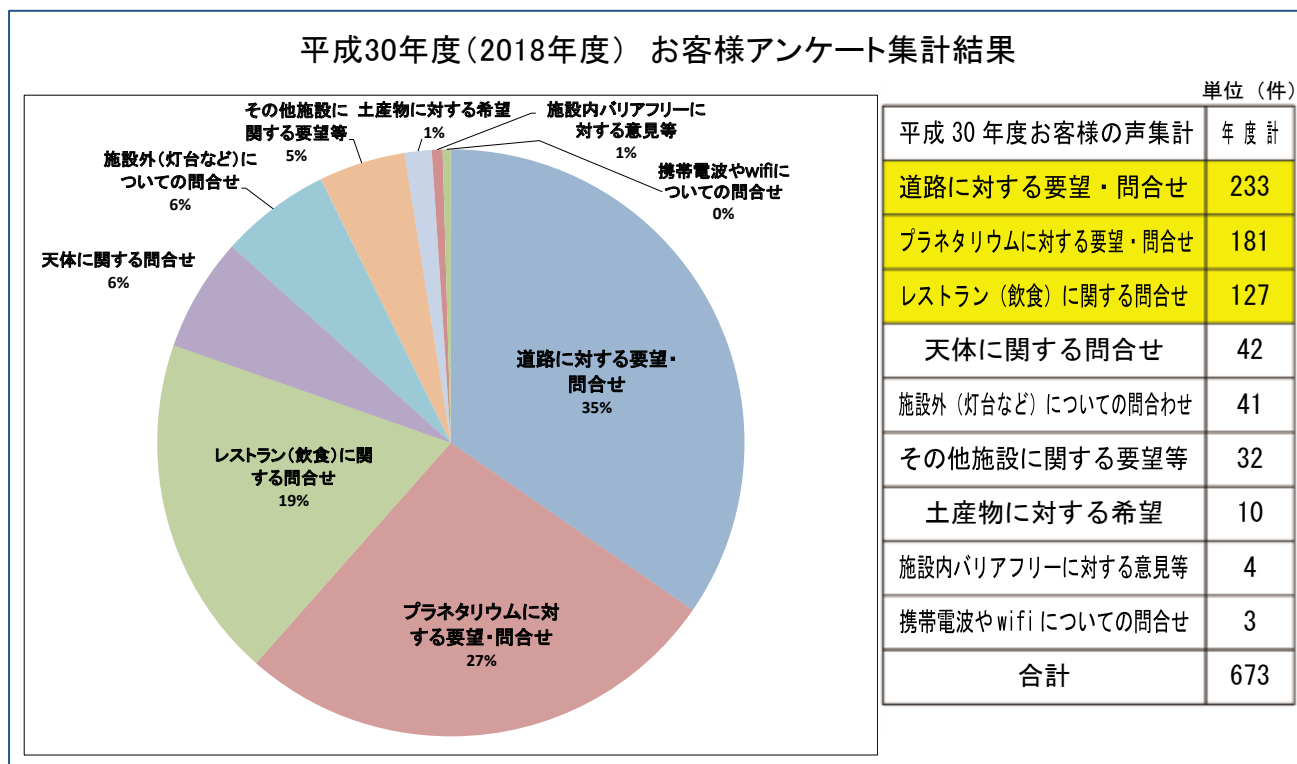
*「議会の事務事業評価」・・・市が行う事務事業を必要性、妥当性、達成度、費用対効果などの観点から、拡充、継続、終期設定し終了、休止・廃止の4つの区分で評価することにより、決算審査をより深め、その結果を今後の行政の事務事業の改善等につなげるためのもの。

○佐賀関地域まちづくりビジョン

平成29年度(2017年度)に、地域の代表者により構成された佐賀関地域まちづくりビジョン会議から提出された「佐賀関地域まちづくりビジョン」において、「さまざまな地域資源を生かした人が集まる地域づくり」事業の内容として、「関崎海星館のプラネタリウム等の設置」が提案されています。

○施設利用者の声

平成30年度(2018年度)に実施した施設利用者アンケートの集計結果は以下のとおりです。道路に対するもの、プラネタリウムに対するもの、レストラン(飲食)に関するものの順で要望・問い合わせをいただいております、これらを合わせると全体の8割を超えます。



資料提供: 関崎海星館(大分エージェンシー株)

5. 基本的な整備の方向性

コンセプト「星と海と人がつながり心の宝物に出会う場所」

子どもだけでなく利用者一人ひとりが佐賀関の魅力を感じるとともに、海から宇宙へと想いを馳せ、普段体験できない非日常を楽しみ、特別な思い出が残る施設となることを目指します。そのために、4 関崎海星館に求められる機能を実現し、入館者数の増加、利用者満足度の向上にむけ、新たに導入する機能等、整備の方向性を以下のとおり設定します。

5. 1 ハード面の整備の方向性

- ①建物改修を実施し、施設の長寿命化及びバリアフリー化を図ります。
- ②天体望遠鏡のリニューアルを検討し、天文施設本来の機能の充実を図ります。
- ③新たにプラネタリウム設備の導入を検討し、県内では初めて一般客が常時利用できる設備として、利用者満足度の向上を図ります。
- ④展示物や展示方法を工夫し、利用者満足度の向上を図ります。
- ⑤アプローチの見直しと駐車場の再整備を検討し、入館者数の増加と利便性の向上を図ります。
- ⑥周辺の道路整備を促進するために、関係機関との連携を図ります。

5. 2 ソフト面の対応について

- ①自然を観察し（展望台）、星夜を体験し（望遠鏡）、多くを学ぶ（プラネタリウム）という場の構築を図ります。
- ②星や海をはじめとした自然への主体的な学びの場を提供します。
- ③星や海に関する学習の場として、学校教育との更なる連携を検討します。
- ④自然や昆虫と触れ合える施設として、保育園や幼稚園等の更なる利用促進を図ります。
- ⑤プラネタリウムや展示では、佐賀関地域の歴史・魅力を発信し、観光も担える施設としてのソフトの充実を図ります。
- ⑥天体に加えて、瀬戸内海国立公園の自然や花々、生き物などの特性を生かした独自の取組を行います。（植栽、展示など）
- ⑦所属部署をはじめ関係機関と協力することにより、関崎灯台をはじめ、佐賀関地域の観光資源の連携を図ります。
- ⑧飲食コーナーの充実を検討します。

6. 機能別の導入方針

5. 1 ハード面の整備の方向性で掲げる、①～⑤について、以下の導入方針による整備を目指します。

6. 1 建物改修及びバリアフリー化への整備方針

建築後24年が経過しているため「大分市公共施設等総合管理計画」及び「大分市教育施設整備保全計画」に基づいた改修を行い、施設の長寿命化を図ります。

あわせて、エレベーターや多目的トイレの設置等のバリアフリー化を検討します。

6. 2 天体望遠鏡の整備方針

天文施設として、最も重要な機能である天体望遠鏡は、リニューアルすることを基本方針としたうえで、以下の項目について検討を行います。

- ① 既存の建物及び天体ドームをもとに、設置可能な大きさのもの。
- ② バリアフリー対応が可能なもの。
- ③ 機器更新等ランニングコストにも配慮したもの。
- ④ 機能性、操作性、拡張性及び安全性に配慮した設計のもの。
- ⑤ 夜間だけでなく、昼間の利用促進につながるもの。

6. 3 プラネタリウムの導入方針

導入に際しては、施設規模に見合う機能として、以下の項目について検討を行います。

- ① 既存の建物内に設置可能な大きさのもの。
- ② バリアフリーに配慮したもの。
- ③ 学校利用の促進を目指すため、1学級(約40人)程度の収容が可能なもの。
- ④ 番組や機器更新等ランニングコストにも配慮したもの。
- ⑤ 比較的操作方法が簡単で、職員の創意工夫が活かされるもの。
- ⑥ 天体望遠鏡で見る星空や佐賀関の海を活かしたオリジナル番組の提供が可能なもの。

6. 4 展示の整備方針

来館者が天文について興味や関心を高めるとともに、海に関する知識や佐賀関地域の歴史を思い出として持ち帰ってもらい、季節を変えてもう一度訪れたいと思わせるための展示を目指します。

一方で、週末や夜間観望会など、天文に興味を持ち、施設利用を目的として訪れる小中学生などを対象とした、宇宙の不思議や遠い先にある星への探究心を持つ機会の提供を目指します。

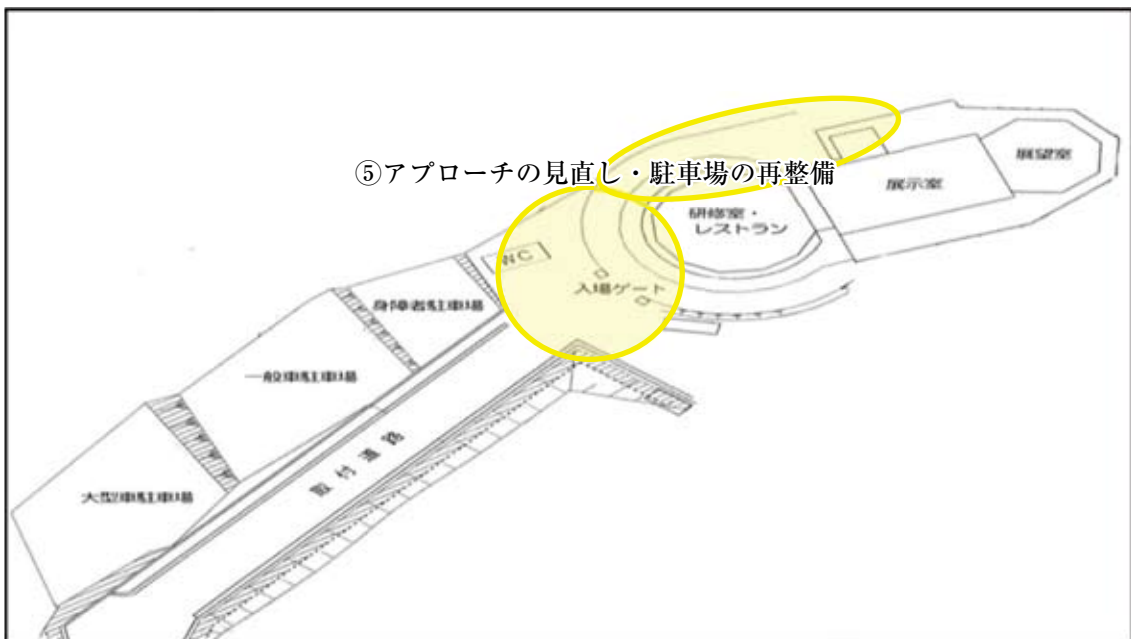
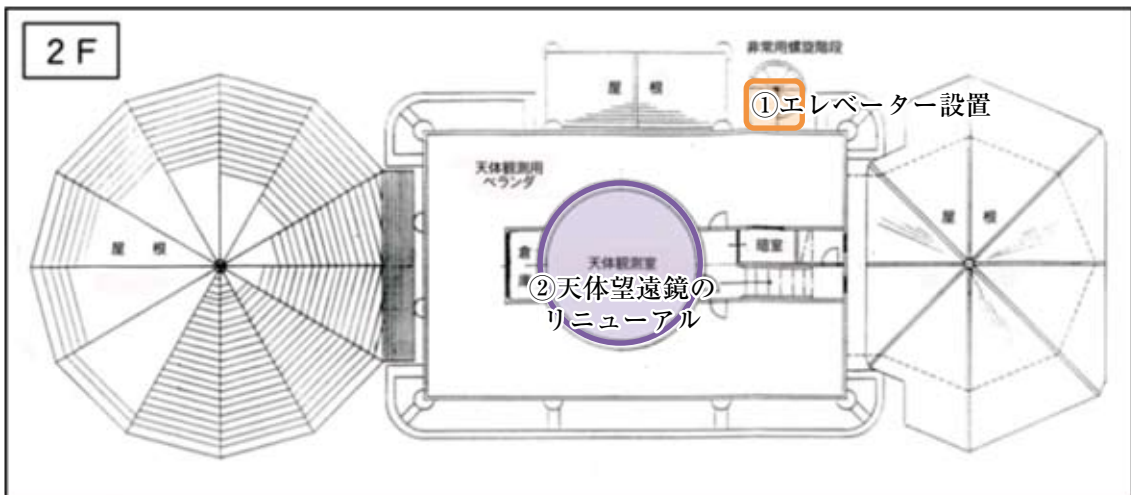
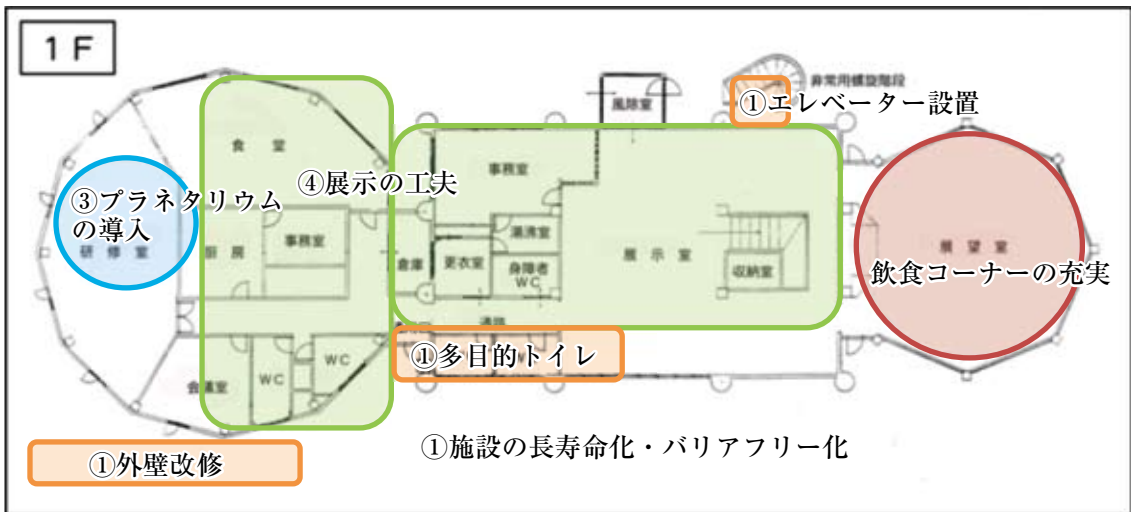
6. 5 アプローチと駐車場の整備方針

来訪者が施設内に入ってみたくなるような「魅力的なファサード(*)」と、「その先を知りたいと思わせる誘導路」の整備を目指します。あわせて、散策目的の来訪者がエントランスから一旦施設内に入り、再び屋外の散策場所に出るような経路を検討します。そうすることで、より多くの人に施設の魅力を味わってもらえと考えます。

また、駐車場の台数が限られており、繁忙期に駐車できない事態が発生するため、駐車場の再整備を検討します。その際、星空の観察等を妨げないよう、ライトニングの工夫をします。

(*) ファサード・・・建築物の正面部分のこと

◆整備のイメージ図



7. 参考資料

7. 1 大分市関崎海星館施設整備基本構想策定検討委員会

7. 1. 1 委員名簿

氏名	所属団体・役職	備考
平井 正則	福岡教育大学名誉教授	委員長
吉村 充功	日本文理大学工学部 建築学科 教授	副委員長
佐野 真紀子	株式会社日本政策投資銀行大分事務所 副調査役	委員
後藤 淳夫	佐賀関地区自治委員連絡協議会長	委員
江藤 郁	大分市企画部長	委員
佐藤 雅昭	大分市教育部長	委員
川田 政昭	関崎海星館 館長	オブザーバー
池辺 明文	パンパシフィック・カッパー株式会社 佐賀関製錬所 総務担当部長	オブザーバー

7. 1. 2 開催経過

回数	開催日	内容
第1回	令和元年(2019年)6月4日(火)	<ul style="list-style-type: none">経過及び検討会の進め方について関崎海星館の現状について昨年度の調査報告について基本構想のイメージについて
第2回	令和元年(2019年)7月23日(火)	<ul style="list-style-type: none">第1回検討委員会の報告基本構想(案)について
第3回	令和元年(2019年)8月28日(水)	<ul style="list-style-type: none">基本構想(案)について

